

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会における意見・質問への回答について

- 反映の区分
- A：意見を反映し、案を修正する（した）
 - B：すでに案で対応している
 - C：案の修正はしないが、実施段階で参考としていく
 - D：意見を反映できなかった（しない）
 - E：その他

No.	箇所	意見・質問	市の対応・考え方・質問への回答	反映区分	所管
1	対象事業一覧（素案）P8	子育てについて相談体制など増えているので、児童に関するいろいろな不安など安心ができるようになると思います。子育てつながりで、不登校の子供をもつ親のケアなどがありますか？	不登校児童生徒の保護者につきましては、保護者が孤立せず、安心して子どもと向き合えるよう、多面的な支援体制が整えられています。学校や教育委員会では、日常的な相談に応じるさわやか相談員、心理的な不安に対応するスクールカウンセラー、家庭や福祉機関とをつなぐスクールソーシャルワーカーなどが連携し、保護者の不安や悩みに寄り添います。加えて、登校に不安を抱える子を持つ保護者同士の交流会や専門機関の紹介なども行い、子どもと保護者の両方を支える環境づくりが進められています。	C	小中一貫教育指導課
2	人口ビジョン（改訂案）P10	0～4歳まで、子育て支援がある程度整備されているが、幼稚園から小学、中学、義務教育までは、ほかの地域の方が手厚いと思います。義務教育の間も、親・子供に優しい町にしてほしいです。	八潮市では、妊娠期から子育て期にわたる、こどものライフステージに応じた切れ目のない子育て支援を実施しています。特に、義務教育中のこどもやその子を持つ親を対象に行っている事業は以下のとおりです。 ■ ハード面（施設・設備の充実） 義務教育期間中の学びや生活の場として、学校施設の老朽化対策や空調設備の整備、ICT環境（タブレット・ネットワーク環境の整備）のさらなる向上など、子どもたちが安心・快適に過ごせる環境の整備 ■ 学童保育所（放課後の居場所づくり） 共働き世帯の増加に伴い、学童保育のニーズが高まっていることによる、学童保育所の充実 そのほかにも、市内の児童生徒に広く開かれた事業として、「中学生海外派遣」、「八潮こども夢大学」、「八潮こども防災マイスター育成プロジェクト」、「ジョイスタ（入試対策、英検対策、特別授業）」、「学習塾との連携事業（8ゼミ）」などを実施しており、選考を行うものもありますが、これらの事業は無償で提供しています。 今後も子どもたちが安心して成長できる社会を目指すため、必要な支援を提供出来るよう引き続き取り組んでまいります。	C	子育て支援課 教育総務課 小中一貫教育指導課